Windows7 において標準 TCP/IP ポートから LPR ポートに変更するための手順

リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン株式会社

 管理者権限を持つユーザーかアドミニストレーターで Windows7 にログインし、「スタート」→「コントロー ル・パネル」→「プログラムと機能」を選択して、下記の画面を開きます。



2. 「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックすると下記の画面が表示されます。



3. 「印刷とドキュメントサービス」の中の「LPR ポート」と「LPD 印刷サービス」にチェックを入れて「OK」 ボタンを押します。  LPR ポートに変更するプリンターの「プリンターのプロパティ」を開き、「ポート」タブ→「ポートの追加」 を選択すると、下記画面のように「利用可能なポートの種類」に「LPR Port」が追加されています。

🖶 InfoPrint 5400 Model F06のプロパティ	23
利用可能なポートの種類(A):	
Local Port	
Standard TCP/IP Port	
□ COM2: シリアル ホート	
COM3: シリアル ポート	
■ COM4: シリアル ホート ■ FUE: ファイル A 出力 InfoDrint FE77 DOE InfoDri	
ポートの追加(T) ポートの削除(D) ポートの構成(C)	
□ 以方向サホートを有効にする(E)	
□ フリンター フールを有効にする(N)	

5. 「新しいポート」ボタンを押して表示される「LPR 互換プリンターの追加」画面において、プリンターの IP アドレスとキュー名を記入します。キュー名はプリンターの内蔵 LAN カードによって決まります。5400 シリ ーズと 5577 シリーズの場合は、lp1(半角小文字)、5400 エミュレーターII の場合は pr1(5577 モード)で す。

LPR 互換プリンターの追加		×
LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス( <u>N</u> ): サーバーのプリンター名または印刷キュー( <u>R</u> ):	170.70.100.41	ОК (*+>ンセル

6. 「OK」ボタンを押して、次の画面が表示されたら「適用」→「OK」とボタンを押してポートの変更を行ない ます。以上の操作でポートの変更は完了です。

🖶 InfoPrint 5400 Model F06のプ	。InfoPrint 5400 Model F06のプロパティ					
全般 共有 ポート 詳細設定	全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 セキュリティ 環境設定 バージョン情報					
InfoPrint 5400 Mode     InfoPrint 5400 Mode     印刷するポート(P)     ドキュメントは、チェック ボックスがオンに	el F06					
で印刷されます。 ポート	説明	プリンター ^				
COM3:	シリアル ポート シリアル ポート					
FILE:	ファイルへ出力 標準の TCP/IP ポート	InfoPrint 55 RICOH imag <sub>E</sub>				
XPSPort:	ローカル ポート	Microsoft XF 🚽				
・ ポートの追加( <u>工</u> ) オ	-トの削除( <u>D)</u> ポ	ートの構成( <u>C</u> )				
<ul> <li>□ 双方向サポートを有効にする(E)</li> <li>□ プリンター プールを有効にする(N)</li> </ul>						
	閉じる キャンセル	適用( <u>A</u> )	~117 III 🔫			

※LPR ポートの場合、タイムアウト値のデフォルトは「300 秒(5分)」となっていますので、そのままでも繰り 返し印刷の発生は回避できると思われます。しかし、お客様のネットワーク環境や、印刷データのサイズによって 300 秒よりも更に大きな値に変更する必要が出てきた場合には、レジストリーを編集して LPR ポートのタイムア ウト値を変更します。その場合には、次の「7」以降にお進みください。ただし、レジストリーの編集は Windows への大きな影響を与えることになる可能性がありますので、十分慎重に行なってください。

7. 「アクセサリ」の中から「コマンド プロンプト」を選択し、右クリックして「管理者として実行」します。

Snipping To	ol la	
Windows E	ビリティ センター 460	8ZU
🍃 エクスプロー	·ラ	
■ コマンドプロ	コンプト	
しサウント	開く(0)	ALC: NAME OF TAXABLE
💷 ネットワ 🔮	管理者として実行(A)	
🔒 はじめに	ファイルの場所を開く(1	
1 ファイル	タスク バーに表示する(K)	
🖾 プロジェ	スタート メニューに表示する(U)	
🔊 ペイント	以前のバージョンの復元(V)	-
🥘 メモ帳	14 - (a)	
1-3U 💀	区の(N)	1.470
🥂 ワードバ	切り取り(T)	リンター
🛃 数式入力	⊐ピ <mark>−(</mark> C)	
■ 電卓	削除(D)	ЭД
🔞 同期セン	名前の変更(M)	- <b>ト</b>
◀ 前に戻る	プロパティ(R)	and the second se
プログラムとファ		シャットダウン 🕨
<b>1</b>		

8. 下記画面のように「net stop pooler」とインプットして「Print Spooler サービス」を停止させます。



9. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」欄に「regedit」とインプットして実行します。

プログラム (1)	
🃸 regedit.exe	
▶ 検索結果の続きを表示	
regedit.exe × ・ シャットダウン・	

10. 下記画面のようなレジストリ エディターが起動したら、

」の下にできた LPR ポートの下の「Timeouts」をクリックします。



11. DataTimeout の「データ」が(300)となっているのは、300 秒という意味です。DataTimeout をダブルクリックして表示される下記の「編集」画面において、「表記」の「10 進数」をチェックします。そして「値のデータ」欄に設定したいタイムアウト値を「秒単位」で記入して「OK」ます。(下記画面は 30 分に変更した例です。)なお、値を大きくすることが悪影響を与えることはありません。以上でタイムアウト値の設定は終了です。

💣 レジストリ エディター					x
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H	)				
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H) Print Print Forms Monitors Local Port Local Port Ports USB Monitor Microsoft Shared Fax Monitor USB Monitor USB Monitor	) DWC 値 18	名前 ④(既定) ③ CommandTimeout ③ DataTimeout ORD (32 ピット) 値の編集 D名前(N): ataTimeout Dデータ(V): 00	種類 REG_SZ REG_DWORD REG_DWORD SEG_DWORD	データ (値の設定なし) 0x0000078 (120) 0x0000012c (300)	

※LPR ポートの場合、11 個を越える印刷ジョブ(12 個目のジョブ)の印刷開始が遅れるという現象が発生する場合 があります。これは、Windows7 において、デフォルトでは LPR で利用できるポート数に制限があるためです。 この問題は、次の手順でレジストリーを編集して、ポート数の制限を無制限に設定することで回避できます。ただ し、レジストリーの編集は Windows への大きな影響を与えることになる可能性がありますので、十分慎重に行な ってください。

12. レジストリ エディターで「¥¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥LPDSVC¥lpr」を選択 します。※画面下のパスの表示を確認してください。





💣 レジストリ エディター	5 G 5"		
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) へ	ルプ(H)		
新規(N) ▶	‡−(K)	種類	データ
アクセス許可(P)	文字列値(S)	REG_SZ	(値の設定なし)
削除(D) Del 名前の変更(R)	ハイフリ1년(B) DWORD (32 ビット) 値(D) OWORD (54 ビット) 値(O)		
キー名の⊐ピー(C)	複数行文字列値(M)		
検索(F) Ctrl+F	展開可能な文字列値(E)		
次を検索(X) F3			
			۱.
新しい 32 ビット値を追加します。			

14. 値の名前を UseNonRFCSourcePorts と入力します。

💣 レジストリ	エディター			P 1 1 1 1 1 1		
ファイル( <u>E</u> )	編集( <u>E)</u> 表示(⊻)	お気に入り( <u>A</u> )	へレプ(Ⴞ	<u>1</u> )		
	Þ 🏭		*	名前	種類	データ
				••)(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
				B UseNonRFCSourcePorts	REG_DWORD	0x00000000 (0)
	▶ - 🌆		=			
	Þ 🆺					
	▶ - <b>↓</b>					
	k - <b>1</b>					
	A 🌗 LPDSVC					
	lpr					
	▷ ••		Ŧ			1
コンピューター¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥LPDSVC¥lpr						

15. UseNonRFCSourcePorts をダブルクリックして開きます。

「DWORD (32 ビット)値の編集」が開きますので、以下の値を入力し、「OK」をクリックします。
 値の名前 : (UseNonRFCSourcePorts が表示されています)
 値のデータ: 1
 表記 : 16 進数 (バイナリ)

DWORD (32 ビット) 値の編集	X
値の名前( <u>N</u> ): UseNonRFCSourcePorts	
(値のデータ(⊻): 11	表記 <ul> <li>16 進数(<u>H</u>)</li> <li>10 進数(<u>D</u>)</li> </ul>
	OK キャンセル

値のデータは、デフォルトでは「0」になっていますが、ポート数の制限をなくすために「1」に設定します。

マイクロソフト社の情報では、ポート 721~731(11 個のポート)を使用する場合は「0」、ポート 1024 以降の任意のポートを使用する場合は「1」を設定するとしています。

《参考》 LPR で利用できるポート数に制限は、Windows のレジストリを変更することにより修正可能であることについては、下記マイクロソフト社のホームページでご紹介されています。

<u> サポート技術情報 文書番号:179156 Windows NT 4.0 SP3 以降で更新された TCP/IP 印刷オプション</u>

16. レジストリ エディタを終了させて、手順「8」と同様の手順でコマンドプロンプトに「net start spooler」と インプットします。「Print Spooler サービス」の開始が確認できたら終了です。

以上